

■第1学年（合計94時間）

★Sec=Section（各プログラムのセクション番号） ★WW=Word Web ★St=Steps ★OP=Our Project（パフォーマンス活動） ★PU=Power-Up
★知・技=知識・技能 ★思・判・表=思考・判断・表現 ★主=主体的に学習に取り組む態度
★L=聞くこと ★R=読むこと ★Si=話すこと（やり取り） ★Sp=話すこと（発表） ★W=書くこと

※本「年間指導計画・評価規準作成資料」は、実際に指導計画を作成される場合の一例です。
※「主な使用領域」「各時間の目標例」のうち、特に重点を置くべきと思われる領域は太字で大きく示しています。

月	時	課 Sec	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
				基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
4	6		Get Ready ① ようこそ！ みらい中学校へ ② みらい中学校の仲間たち ③ 新しい仲間にインタビューしよう ④ 自分のことを友だちに知ってもらおう	like / can / want to ～ / when, whereの疑問文など ①Do you ～? / Can you ～? / I want to be ～. , etc. ②I'm ～. / You're ～. / I (don't) like ～. / I (can't) ～. / I want to go to ～. , etc. ③When is your birthday? Where are you from? What do you want to be? ④上記①～③の内容	L / R / Si	Si / Sp / W	Si / Sp / W	(1時) 好きなものやできることなどについて、聞き取ることができる。 (2時) 自分のことを知ってもらうために、好きなものやできること、行きたい国などについて、話したり書いたりすることができる。 (3時) 相手のことを知るために、友だちや先生の好きなものやできること、出身や誕生日などについて、伝え合うことができる。 (4時) ・ポスターに書いてある内容について、概要や要点を捉えることができる。 ・自分のことを知ってもらうために、自分の誕生日や好きなもの、入りたい部活について書くことができる。	【知・技】(L / R / Si) (1-3時) ＜知識＞ 小学校で学んだ自己紹介の表現や建物などの語句の意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 小学校で学んだ自己紹介の表現や建物などの語句の意味や働きの理解をもとに、好きなものやできることなどについて、聞き取ったり伝え合ったりする技能を身に付けている。 (4時) ＜知識＞ 小学校で学んだスポーツや動作などの語句の意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 小学校で学んだスポーツや動作などの語句の意味や働きの理解をもとに、ポスターに書いてある内容について、概要や要点を捉えている。
		0 ① アルファベットを確かめよう ② つづり字と発音	アルファベットの形と発音 ①アルファベットの文字と音 / ABCソング ②フォニックスの基本	L / R / W				(5-6時) アルファベットの形、つづり字と発音の関係などの理解をもとに、単語を書いたり読んだりすることができる。	【知・技】(L / R / W) (5-6時) ＜知識＞ アルファベットの大文字・小文字、つづり字と発音の関係について理解している。 ＜技能＞ つづり字と発音の関係の理解をもとに、単語を正確に読んだり書いたりしている。

月	時	課 Sec	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
				基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
5	1		辞書を引いてみよう	辞書の引き方				(1時) 辞書の引き方について理解することができる。	【知・技】 (1時) ＜知識＞ 辞書の引き方について理解している。 ＜技能＞ 辞書の引き方についての知識をもとに、引きたい単語を調べる技能を身に付けている。
	5	1 ① ②	<u>友だちを作ろう</u> 対話：～です。 / ～ではありません。 対話：～ですか。 / 場所をたずねる。 真央，健，ダニエル，エミリーが新しいクラスで出会う。	be動詞（肯定・否定・疑問） / whereの疑問文 ①I'm Ben. I'm not Ami. Oh, you are Ami. ②Are you from the U.S.? Where are you from?				(1時) 職業や性格などの相手についての情報を聞き取ったり，自己紹介したりすることができる。 (2時) 海外の有名人になりきって自己紹介をすることができる。 (3-4時) 登場人物になったつもりで質問に答えるために，自己紹介についての会話文を読んで，概要や要点を捉えることができる。 (5時) ・相手にわかってもらえるように，自分のことについて伝えたり，質問に答えたりすることができる。 ・自己紹介をするために，自分のことについて，書くことができる。	【知・技】（L / Si / W） (1時) ＜知識＞ be動詞（肯定・否定）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ be動詞（肯定・否定）などの意味や働きの理解をもとに，職業や性格などの相手についての情報を聞き取ったり，自己紹介したりする技能を身に付けている。 (2時) ＜知識＞ whereの疑問文などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ whereの疑問文などの意味や働きの理解をもとに，海外の有名人になりきって自己紹介をする技能を身に付けている。 【思・判・表】（R / Si / W） (3-4時) 登場人物になったつもりで質問に答えるために，自己紹介についての会話文を読んで，概要や要点を捉えている。 (5時) ・相手にわかってもらえるように，自分のことについて伝えたり，質問に答えたりしている。 ・自己紹介をするために，自分のことについて，簡単な語句や文などを用いて書いている。 【主】（R / Si / W） (3-4時) 登場人物になったつもりで質問に答えるために，自己紹介についての会話文を読んで，概要や要点を捉えようとしている。 (5時) ・相手にわかってもらえるように，自分のことについて伝えたり，質問に答えたりしようとしている。 ・自己紹介をするために，自分のことについて，簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。
	1	WW1	数の言い方	数字，年齢，電話番号，値段	L / Si			(1時) 年齢や電話番号，値段などについて聞き取ったり，伝え合ったりすることができる。	【知・技】（L / Si） (1時) ＜知識＞ 数の言い方を理解している。 ＜技能＞ 数に関する語句などの意味や働きの理解をもとに，年齢や電話番号，値段などについて聞き取ったり，伝え合ったりする技能を身に付けている。
	5	2 ① ②	<u>1-Bの生徒たち</u> 対話：自分がすること【しないこと】 / 2つ以上のものを表現する。 対話：～しますか。 / 時をたずねる。 真央，ダニエル，エミリーが教室で自分の趣味について話す。	一般動詞（肯定・否定・疑問） / 複数形 / whenの疑問文 ①I have an apple for a snack. I don't like apples. I eat five bananas for a snack. ②Do you often climb mountains? Yes, I do. When do you climb?				(1時) 登場人物の好きなことやふだんすることについて聞き取ったり書いたりすることができる。 (2時) 相手の好きなものやいつするかについて聞き取ったり書いたりすることができる。 (3-4時) 登場人物になったつもりで質問したり答えたりするために，趣味についての会話文を読んで，要点を捉えることができる。 (5時) ・お互いのことをよく知るために，好きなことやふだんすることについて，伝えたり質問に答えたりすることができる。 ・好きなことやふだんすることについてほかの人に伝えるために，書くことができる。	【知・技】（L / Si / W） (1時) ＜知識＞ 一般動詞（肯定・否定）や複数形などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 一般動詞（肯定・否定）や複数形などの意味や働きの理解をもとに，登場人物の好きなことやふだんすることについて聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 (2時) ＜知識＞ whereの疑問文などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ whereの疑問文などの意味や働きの理解をもとに，相手の好きなものやいつするかについて聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】（R / Si / W） (3-4時) 登場人物になったつもりで質問したり答えたりするために，趣味についての会話文を読んで，要点を捉えている。 (5時) ・お互いのことをよく知るために，好きなことやふだんすることについて，伝えたり質問に答えたりしている。 ・好きなことやふだんすることについてほかの人に伝えるために，簡単な語句や文などを用いて書いている。 【主】（R / Si / W） (3-4時) 登場人物になったつもりで質問したり答えたりするために，趣味についての会話文を読んで，要点を捉えようとしている。 (5時) ・お互いのことをよく知るために，好きなことやふだんすることについて，伝えたり質問に答えたりしようとしている。 ・好きなことやふだんすることについてほかの人に伝えるために，簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。

月	時	課 Sec	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
				基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
6	1	WW2	曜日と天気の違い方	曜日の歌, Sunday ~ Saturday	Si			(1時) 今日の曜日や天気などについて, たずねたり答えたりすることができる。	【知・技】(Si) (1時) <知識> 曜日や天気などの言い方を理解している。 <技能> 曜日や天気に関する語句などの意味や働きの理解をもとに, 今日の曜日や天気などについてたずねたり答えたりする技能を身に付けている。
	1	St1	英語でやりとりしよう①	Are you ~? / Do you ~? / when, whereの疑問文	Si			(1時) 好きなことやふだんすることについてたずねたり答えたりすることができる。	【知・技】(Si) (1時) <知識> be動詞や一般動詞, when, whereの疑問文などの表現の特徴や決まりを理解している。 <技能> 相手の好きなことやふだんすることについて, be動詞や一般動詞, when, whereの疑問文などの表現の特徴や決まりの理解をもとに, たずねたり答えたりする技能を身に付けている。
	1		アクションコーナー アクションカード①~⑧を使い, ~しなさい, ~してはいけませんを言う。	命令文 Play baseball. Don't [Do not] play baseball.	L / Si			(1時) 「してほしいこと」や「してはいけないこと」について, 聞き取ったり伝え合ったりすることができる。	【知・技】(L / Si) (1時) <知識> 「してほしいこと」や「してはいけないこと」(命令文) の表現の特徴や決まりを理解している。 <技能> 「してほしいこと」や「してはいけないこと」(命令文) などの意味や働きの理解をもとに, 友だちにしてほしいことやしてはいけないことを聞き取ったり伝え合ったりする技能を身に付けている。
	5	3 ① ②	タレントショーを開こう 対話: ~できる。 / ~できない。 対話: ~できますか。 / 何ができますか。 健は自分ができることをアピールするタレントショーを開こうと提案する。ダニエルはアメリカのテレビで行われているタレントショーに出場したダンサーのエビケン(姥名健一) の話をする。	can (肯定・否定・疑問) / whatの疑問文 ①I can make <i>sushi</i> . But I can't eat fish. ②Can you cook? Yes, I can. What can you make?	L / Si / W	R / Si / Sp / W	R / Si / Sp / W	(1時) 登場人物や身の回りの人の「できること」「できないこと」について, 聞き取ったり書いたりすることができる。 (2時) 登場人物の「できること」「できないこと」や絵からわかることについて, 聞き取ったり書いたりすることができる。 (3-4時) 登場人物の「できること」「できないこと」をほかの人に伝えるために, タレントショーについての会話文を読んで, 概要や要点を捉えることができる。 (5時) ・相手にわかってもらえるように, 動物ができることや「夢のロボット」について伝え合うことができる。 ・動物ができることや「夢のロボット」についてほかの人に伝えるために, 写真や絵を相手に示しながら概要を話したり書いたりすることができる。	【知・技】(L / Si / W) (1時) <知識> can (肯定・否定) などの意味や働きの理解している。 <技能> can (肯定・否定) などの意味や働きの理解をもとに, 登場人物や身の回りの人の「できること」「できないこと」について, 聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 (2時) <知識> canの疑問文などの意味や働きの理解している。 <技能> canの疑問文などの意味や働きの理解をもとに, 登場人物の「できること」「できないこと」や絵からわかることについて, 聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】(R / Si / Sp / W) (3-4時) 登場人物の「できること」「できないこと」をほかの人に伝えるために, タレントショーについての会話文を読んで, 概要や要点を捉えている。 (5時) ・相手にわかってもらえるように, 動物ができることや「夢のロボット」について伝え合っている。 ・動物ができることや「夢のロボット」についてほかの人に伝えるために, 簡単な語句や文などを用いて, 写真や絵を相手に示しながら概要を話したり書いたりしている。 【主】(R / Si / Sp / W) (3-4時) 登場人物の「できること」「できないこと」をほかの人に伝えるために, タレントショーについての会話文を読んで, 概要や要点を捉えようとしている。 (5時) ・相手にわかってもらえるように, 動物ができることや「夢のロボット」について伝え合おうとしている。 ・動物ができることや「夢のロボット」についてほかの人に伝えるために, 簡単な語句や文などを用いて, 写真や絵を相手に示しながら概要を話したり書いたりしようとしている。

月	時	課 Sec	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
				基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
7	1	St2	考えを整理し、表現しよう	マッピングの使用	R	Sp	Sp	（1時） 自分の好きなことについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。	【知・技】（R） （1時） ＜知識＞ マッピングの使い方を理解している。 ＜技能＞ マッピングの使い方の理解をもとに、登場人物の好きなものについて書かれた英文を読み取る技能を身に付けている。 【思・判・表】（Sp） （1時）自分の好きなことについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある内容を話している。 【主】（Sp） （1時）自分の好きなことについて、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある内容を話そうとしている。
	4	OP1 ① モデルを確認し、スピーチの構想を練る。 ② メモをもとに発表できるようにイメージをしながら、スピーチ発表のためのメモを作る。 ③ 協働学習で助言、本番の練習。 ④ 本番のスピーチ発表、評価、振り返り。	（これまでの復習）	L / R	Si / Sp / W	Si / Sp / W	（1時） 「あなたの知らない私」というテーマのスピーチの概要を聞き取ったり読み取ったりできる。 （2-4時） ・相手がまだ知らない自分の意外な一面を知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて自己紹介をしたり、自己紹介の英文を書いたりすることができる。 ・相手をもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。	【知・技】（L / R） （1時） ＜知識＞ be動詞や一般動詞などの既習の言語材料の意味や働きを理解している。 ＜技能＞ be動詞や一般動詞などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「あなたの知らない私」というテーマのスピーチの概要を聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。 【思・判・表】（Si / Sp / W） （2-4時） ・相手がまだ知らない自分の意外な一面を知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて自己紹介をしたり、自己紹介の英文を書いたりしている。 ・相手をもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり考えたりしたことを、簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合っている。 【主】（Si / Sp / W） （2-4時） ・相手に自分の意外な一面を知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて自己紹介をしたりスピーチ原稿を書いたりしようとしている。 ・相手をもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり考えたりしたことを、簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合おうとしている。	
	1	PU1	ハンバーガーショップへ行こう	Can I have ～? / How much ～?	L	Si	Si	（1時） ハンバーガーショップで注文するために、自分が食べたいものやその金額などを伝え合うことができる。	【知・技】（L） （1時） ＜知識＞ ハンバーガーショップでの注文で使う表現を理解している。 ＜技能＞ ハンバーガーショップでの注文で使う表現の理解をもとに、客と店員の会話の内容を聞き取る技能を身に付けている。 【思・判・表】（Si） （1時）ハンバーガーショップで注文するために、簡単な語句や文などを用いて、自分が食べたいものやその金額などを伝え合っている。 【主】（Si） （1時）ハンバーガーショップで注文するために、簡単な語句や文などを用いて、自分が食べたいものやその金額などを伝え合おうとしている。
	5	4 ① 対話：これ【あれ】は～です（か）。 ② 対話：彼【彼女】は～です（か）。 / 人の名前をたずねる。 書道の授業で、墨についてダニエルに教える真央。さらに百人一首についても教える。	This is ～. That is ～.（肯定・否定・疑問） / 代名詞 / whoの疑問文 ①Is that a bird? No, it isn't. This is a drone. ②Who is that woman? She is an android, Chihira Aiko.	L / Si / W	R / Si / W	R / Si / W	（1時） 友だちや身の回りのものについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 （2時） 登場人物の様子などについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 （3-4時） 質問したり答えたりするために、日本文化についての会話文を読んで、要点を捉えることができる。 （5時） ・相手にわかってもらえるように、食べ物や動物、教科書の登場人物について説明し、質問したり答えたりすることができる。 ・食べ物や動物、教科書の登場人物についてのクイズを作るために、簡単な語句や文などを用いて書くことができる。	【知・技】（L / Si / W） （1時） ＜知識＞ This [That / It] is ～.（肯定・否定・疑問）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ This [That / It] is ～.（肯定・否定・疑問）などの意味や働きの理解をもとに、友だちや身の回りのものについて聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 （2時） ＜知識＞ whoの疑問文や人称代名詞などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ whoの疑問文や人称代名詞などの意味や働きの理解をもとに、登場人物の様子などについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】（R / Si / W） （3-4時）質問したり答えたりするために、日本文化についての会話文を読んで、要点を捉えている。 （5時） ・相手にわかってもらえるように、食べ物や動物、教科書の登場人物について説明し、質問したり答えたりしている。 ・食べ物や動物、教科書の登場人物についてのクイズを作るために、簡単な語句や文などを用いて書いている。 【主】（R / Si / W） （3-4時）質問したり答えたりするために、日本文化についての会話文を読んで、要点を捉えようとしている。 （5時） ・相手にわかってもらえるように、食べ物や動物、教科書の登場人物について説明し、質問したり答えたりしようとしている。 ・食べ物や動物、教科書の登場人物についてのクイズを作るために、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。	
	1	PU2	持ち主をたずねよう	Which ～? / Whose ～?	L	Si	Si	（1時） 持ち主がだれかをたずねたり、自分や相手の持ち物などについて伝え合ったりすることができる。	【知・技】（L） （1時） ＜知識＞ whichやwhoseなどの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ whichやwhoseなどの意味や働きの理解をもとに、登場人物の持ち物について聞き取る技能を身に付けている。 【思・判・表】（Si） （1時）持ち主がだれかをたずねるために、簡単な語句や文などを用いて、自分や相手の持ち物などについて伝え合っている。 【主】（Si） （1時）持ち主がだれかをたずねるために、簡単な語句や文などを用いて、自分や相手の持ち物などについて伝え合おうとしている。

月	時	課 Sec	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
				基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
9		5	5 The Junior Safety Patrol ① 対話：ほかの人がすること [しないこと] ② 対話：ほかの人がすることをたずねる。 アメリカでは生徒たち自身で登校中の安全を指導するJunior Safety Patrolがあることを紹介するダニエル。そして、真央と健はダニエルの家に遊びに行く。	三人称・単数・現在（肯定・否定・疑問） ①My grandmother makes my lunch for me. She cooks very well. But she doesn't make breakfast. ②Does your grandfather make breakfast? Yes, he does.				(1時) 自分と相手以外の人について聞き取ったり書いたりすることができる。 (2時) 登場人物やあるキャラクターについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 (3-4時) 国による文化の違いについて知るために、子ども安全パトロールについての会話を読んで、必要な情報を捉えることができる。 (5時) ・だれを紹介しているか相手にわかってもらえるように、友だちについて質問したり、答えたりすることができる。 ・友だちを紹介するために、友だちについて書くことができる。	【知・技】 (L / Si / W) (1時) ＜知識＞ 三人称・単数・現在（肯定・否定）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 三人称・単数・現在（肯定・否定）などの意味や働きの理解をもとに、自分と相手以外の人について聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 (2時) ＜知識＞ 三人称・単数・現在（疑問）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 三人称・単数・現在（疑問）などの意味や働きの理解をもとに、登場人物やあるキャラクターについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】(R / Si / W) (3-4時) 国による文化の違いについて知るために、子ども安全パトロールについての会話を読んで、必要な情報を捉えている。 (5時) ・誰を紹介しているか相手にわかってもらえるように、友だちについて質問したり、答えたりしている。 ・友だちを紹介するために、友だちについて、簡単な語句や文などを用いて書いている。 【主】 (R / Si / W) (3-4時) 国による文化の違いについて知るために、子ども安全パトロールについての会話を読んで、必要な情報を捉えようとしている。 (5時) ・誰を紹介しているか相手にわかってもらえるように、友だちについて質問したり、答えたりしようとしている。 ・友だちを紹介するために、友だちについて、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。
	1	WW3	季節・月の名前	春夏秋冬, January ～ December	Si			(1時) 自分の好きな季節や月などについて伝え合うことができる。	【知・技】 (Si) (1時) ＜知識＞ 季節や月の言い方を理解している。 ＜技能＞ 季節や月の意味や働きの理解をもとに、自分の好きな季節や月について伝え合う技能を身に付けている。
		5	6 The Way to School ① 対話：人について「～を、に」 ② 対話：理由についてのQ&A エミリーが映画『世界の果ての通学路』について調べているところに健がやってくる。2人は映画に出ていたケニアの少年ジャクソンについて話す。	him, her / whyの疑問文, Because ～. ①This is my friend Paul. I know him. Oh, Sue! I like her. ②Why do you like Sue? Because she is always kind to me.				(1時) 登場人物や好きなキャラクターの家族などについて聞き取ったり書いたりすることができる。 (2時) 好きなものやその理由について、聞き取ったり書いたりすることができる。 (3-4時) 海外の通学事情について知るために、映画についての会話を読んで、要点を捉えることができる。 (5時) ・相手にわかってもらえるように、有名人や好きな人物について伝え合うことができる。 ・好きな人物を紹介するために、その理由について、書くことができる。	【知・技】 (L / Si / W) (1時) ＜知識＞ him, herなどの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ him, herなどの意味や働きの理解をもとに、登場人物や好きなキャラクターの家族などについて聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 (2時) ＜知識＞ whyの疑問文, Because ～.などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ whyの疑問文, Because ～.などの意味や働きの理解をもとに、好きなものやその理由について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】 (R / Si / W) (3-4時) 海外の通学事情について知るために、映画についての会話を読んで、要点を捉えている。 (5時) ・相手にわかってもらえるように、有名人や好きな人物について伝え合っている。 ・好きな人物を紹介するために、その理由について、簡単な語句や文などを用いて書いている。 【主】 (R / Si / W) (3-4時) 海外の通学事情について知るために、映画についての会話を読んで、要点を捉えようとしている。 (5時) ・相手にわかってもらえるように、有名人や好きな人物について伝え合おうとしている。 ・好きな人物を紹介するために、その理由について、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。
10	1	PU3	道案内をしよう①（駅ビル）	Where is ～? / Turn right, and ～. など	L	Si	Si	(1時) 駅ビルの道案内で、自分が行きたい場所や行き方などを伝え合うことができる。	【知・技】 (L) (1時) ＜知識＞ 道案内で使う表現を理解している。 ＜技能＞ 道案内で使う表現も理解をもとに、駅ビルの客とスタッフの会話の内容を聞き取る技能を身に付けている。 【思・判・表】 (Si) (1時) 駅ビルで道案内をするために、簡単な語句や文などを用いて、自分が行きたい場所や行き方などを伝え合っている。 【主】 (Si) (1時) 駅ビルで道案内をするために、簡単な語句や文などを用いて、自分が行きたい場所や行き方などを伝え合おうとしている。
	1	PU4	店内放送を聞こう	放送を聞いて、商品の特長を聞き取る。	L			(1時) 店内放送で使う表現について、聞き取ることができる。	【知・技】 (L) (1時) ＜知識＞ 店内放送で使う表現を理解している。 ＜技能＞ 店内放送で使う表現などの意味や働きの理解をもとに、聞き取る技能を身に付けている。
	1	WW4	順番・日付の言い方	序数	Si			(1時) 自分の誕生日について伝え合ったりすることができる。	【知・技】 (Si) (1時) ＜知識＞ 順番や日付などの言い方を理解している。 ＜技能＞ 順番や日付などの意味や働きの理解をもとに、誕生日について伝え合ったりする技能を身に付けている。

月	時	課 Sec	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
				基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
11		5	7 ① 対話：～がいる【ある】。 ② 対話：手段・方法についてたずねる。 エミリーは健にオーストラリアの世界遺産や動物について話す。そこに真央がやってきて、2人でオーストラリアのクリスマスについて話す。	There is [are] ～. / howの疑問文 ①Oh, there is a <i>sushi</i> restaurant over there. ②How can we go there?	L / Si / W	R / Si / W	R / Si / W	（1時） 登場人物や自分の地域にあるものについて聞き取ったり書いたりすることができる。 （2時） 登場人物や自分の学校に来る手段について、聞き取ったり書いたりすることができる。 （3-4時） オーストラリアの様子について知るために、オーストラリアについての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 （5時） 相手にわかってもらえるように、文具の場所や交通手段などについて伝え合ったり書いたりすることができる。	【知・技】 （L / Si / W） （1時） ＜知識＞ There is [are] ～.などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ There is [are] ～.などの意味や働きの理解をもとに、登場人物や自分の地域にあるものについて聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 （2時） ＜知識＞ howの疑問文などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ howの疑問文などの意味や働きの理解をもとに、登場人物や自分の学校に来る手段について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】（R / Si / W） （3-4時） オーストラリアの様子について知るために、オーストラリアについての会話文を読んで、概要や要点を捉えている。 （5時） 相手にわかってもらえるように、文具の場所や交通手段などについて伝え合ったり書いたりしている。 【主】 （R / Si / W） （3-4時） オーストラリアの様子について知るために、オーストラリアについての会話文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。 （5時） 相手にわかってもらえるように、文具の場所や交通手段などについて伝え合ったり書いたりしようとしている。
	1	St3	話の組み立て方を考えよう	スピーチの構成	L / R	Sp	Sp	（1時） 自分の好きな季節について、自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。	【知・技】 （L / R） （1時） ＜知識＞ 相手にわかりやすい話の組み立て方を理解している。 ＜技能＞ 相手にわかりやすい話の組み立て方の理解をもとに、登場人物の好きな季節について聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。 【思・判・表】（Sp） （1時） 自分の好きな季節について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある内容を話している。 【主】 （Sp） （1時） 自分の好きな季節について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある内容を話そうとしている。
	1	St4	英語でやりとりしよう②	Is this [that / he / she] ～? / Does he [she] ～? など	Si			（1時） 相手のできることや好きなことなどについて、canや自分以外のものを示す言い方、理由や存在、手段などの表現の特徴や決まりの理解をもとに、伝え合うことができる。	【知・技】 （Si） （1時） ＜知識＞ canや自分以外のものを示す言い方、理由や存在、手段などの表現の特徴や決まりを理解している。 ＜技能＞ 相手のできることや好きなことなどについて、canや自分以外のものを示す言い方、理由や存在、手段などの表現の特徴や決まりの理解をもとに、伝え合う技能を身に付けている。
	1	WW5	疑問詞のまとめ	5W1Hを使った疑問文	Si			（1時） さまざまな疑問詞の意味や働きの理解をもとに、相手や自分のことについて質問したり答えたりすることができる。	【知・技】 （Si） （1時） ＜知識＞ さまざまな疑問詞の使い方を理解している。 ＜技能＞ さまざまな疑問詞の意味や働きの理解をもとに、相手や自分のことについて質問したり答えたりする技能を身に付けている。

月	時	課 Sec	題材・文の形式 本文の概要	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
				基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
12	4	OP2	この人を知っていますか 他人紹介 ① モデルを確認し、スピーチの構想を練る。 ② メモをもとに発表できるようにイメージをしながら、スピーチ発表のためのメモを作る。 ③ 協働学習で助言、本番の練習。 ④ 本番のスピーチ発表、評価、振り返り。	（これまでの復習）	L / R	Si / Sp / W	Si / Sp / W	（1時） 「この人を知っていますか」というテーマのスピーチを聞き取ったり読み取ったりすることができる。 （2-4時） ・自分の好きな人物を伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、好きな人物について紹介したり、英文を書いたりすることができる。 ・相手の好きな人物をもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。	【知・技】 （L / R） （1時） ＜知識＞ 三人称・単数・現在やhim, herなどの既習の言語材料の意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 三人称・単数・現在やhim, herなどの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「この人を知っていますか」というテーマのスピーチを聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。 【思・判・表】 （Si / Sp / W） （2-4時） ・自分の好きな人物を伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて好きな人物について紹介したり、英文を書いたりしている。 ・相手の好きな人物をもっとよく知るために、スピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合っている。 【主】 （Si / Sp / W） （2-4時） ・自分の好きな人物を伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて好きな人物について紹介したり、英文を書いたりしようとしている。 ・相手の好きな人物をもっとよく知るために、スピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合おうとしている。
		1	PU5	インタビューを聞こう	ドラえもんへのインタビューを聞き取る。	L		（1時） インタビューで使う表現について、その人物の誕生日などの情報を聞き取ることができる。	【知・技】 （L） （1時） ＜知識＞ インタビューで使う表現を理解している。 ＜技能＞ インタビューで使う表現について、その人物の誕生日などの情報を聞き取る技能を身に付けている。
		5	8 ① 対話：今、～しています【していません】。 ② 対話：今、（何を）～していますか。 大掃除をしているエミリーの家族。父は「手伝ってほしい」とエミリーと弟に声をかけるが、2人も手が離せない。ダニエルの家では母がおせち料理のくりきんとんを作っている。	現在進行形（肯定・否定・疑問） ① I'm studying now. I'm not doing anything now. ② Are you really studying, Ben? What are you doing?	L / Si / W	R / Si	R / Si	（1時） 登場人物や友だちが今していることについて聞き取ったり書いたりすることができる。 （2時） 登場人物が今していることや友だちがジェスチャーしているものについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 （3-4時） 登場人物の年末年始の過ごし方を理解するために、年末年始についての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 （5時） 自分が何をしているか相手にわかってもらえるように、今していることについて質問したり、答えたりすることができる。	【知・技】 （L / Si / W） （1時） ＜知識＞ 現在進行形（肯定・否定）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 現在進行形（肯定・否定）などの意味や働きの理解をもとに、登場人物や友だちが今していることについて聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 （2時） ＜知識＞ 現在進行形（疑問）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 現在進行形（疑問）などの意味や働きの理解をもとに、登場人物が今していることや友だちがジェスチャーしているものについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】 （R / Si） （3-4時） 登場人物の年末年始の過ごし方を理解するために、年末年始についての会話文を読んで、概要や要点を捉えている。 （5時） 自分が何をしているか相手にわかってもらえるように、今していることについて質問したり、答えたりしている。 【主】 （R / Si） （3-4時） 登場人物の年末年始の過ごし方を理解するために、年末年始についての会話文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。 （5時） 自分が何をしているか相手にわかってもらえるように、今していることについて質問したり、答えたりしようとしている。
	1	St5	絵や写真を英語で表現しよう	インフォメーションギャップ	L / R	Si	Si	（1時） 相手にわかってもらえるように、ある絵の特徴について情報を伝え合うことができる。	【知・技】 （L / R） （1時） ＜知識＞ There is [are] ～.や現在進行形などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ There is [are] ～.や現在進行形などの理解をもとに、ある絵について説明した文を聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。 【思・判・表】 （Si） （1時） 相手にわかってもらえるように、ある絵の特徴について情報を伝え合っている。 【主】 （Si） （1時） 相手にわかってもらえるように、ある絵の特徴について情報を伝え合おうとしている。

月	時	課 Sec	題材・文の形式	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例			
			本文の概要	基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主					
1	8	9	A Trip to Finland ① 対話：過去にすることを言う。（規則動詞） ② 対話：過去にすることを言う。（不規則動詞） ③ 対話：過去にすることをたずねる。/ 過去にしなかったことを言う。 冬休みに旅行でフィンランドに行った美希が、家に遊びに来たダニエルと健にオーロラ、サウナ、サルミアッキ、極夜などについて話している。	一般動詞の過去形（肯定・疑問・否定） ①I stayed home, watched TV all day. No, I worked a little. I cleaned my room too. ②I had a good time yesterday. I ate an ice cream, and I won another one. ③Did you eat two ice creams? Yes, I did. So I didn't eat dessert last night.	L / Si / W	R / Sp / Si	R / Sp / Si	（1時） 週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 （2時） 週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 （3時） 3日前にしたことについて、聞き取ったり書いたりすることができる。 （4-6時） フィンランドの様子について話すために、フィンランドについての会話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。 （7時） フィンランドの様子についてほかの人に伝えるために、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話すことができる。 （8時） 相手にわかってもらえるように、過去にしたことについて、伝え合うことができる。	【知・技】 （L / Si / W） （1時） ＜知識＞ 一般動詞の過去形（規則変化）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 一般動詞の過去形（規則変化）などの意味や働きの理解をもとに、週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 （2時） ＜知識＞ 一般動詞の過去形（不規則変化）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 一般動詞の過去形（不規則変化）などの意味や働きの理解をもとに、週末にしたことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 （3時） ＜知識＞ 一般動詞の過去形（疑問・否定）などの意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 一般動詞の過去形（疑問・否定）などの意味や働きの理解をもとに、3日前にしたことについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 【思・判・表】 （R / Sp / Si） （4-6時） フィンランドの様子について話すために、フィンランドについての会話文を読んで、概要や要点を捉えている。 （7時） フィンランドの様子についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。 （8時） 相手にわかってもらえるように、過去にしたことについて、伝え合っている。 【主】 （R / Sp / Si） （4-6時） フィンランドの様子について話すために、フィンランドについての会話文を読んで、概要や要点を捉えようとしている。 （7時） フィンランドの様子についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見ながら概要を話そうとしている。 （8時） 相手にわかってもらえるように、過去にしたことについて、伝え合おうとしている。			
		1	St6	文の内容を整理し、表現しよう				PROGRAM 9の内容を図表で整理する。	R	Sp	Sp	（1時） PROGRAM 8,9で聞いたり読んだりした内容について、情報を整理し、説明することができる。 【知・技】 （R） （1時） ＜知識＞ PROGRAM 8,9の内容を理解している。 ＜技能＞ PROGRAM 8,9の内容について、要点を読み取る技能を身に付けている。 【思・判・表】 （Sp） （1時） PROGRAM 8,9の内容について、事実などを整理し、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある内容を話している。 【主】 （Sp） （1時） PROGRAM 8,9の内容について、事実などを整理し、簡単な語句や文などを用いてまとまりのある内容を話そうとしている。
		2	8	10				Grandma Baba's Warming Ideas! ① 対話：過去の状態について話す。 ② 対話：過去の状態についてたずねる。/ 過去の状態を否定する。 ③ 対話：過去のあるときにしてしたこと ばばばあちゃんと寒がりの動物たちがそりに乗って遊び、ぽかぽかに温まる物語。	be動詞の過去形 / 過去進行形（肯定・疑問・否定） ①I was a student at this time. You were very cute. ②Were you tired? I wasn't so busy today. ③Were you studying? I was reading a textbook.	L / Si / W	R / Si / Sp	R / Si / Sp
1	St7			英語でやりとりしよう③	Are [Were] you (watching) ～? / Did you ～? など	Si			（1時） 相手のしていることやしたことについて、伝え合うことができる。 【知・技】 （Si） （1時） ＜知識＞ 現在進行形や過去形などの表現の特徴や決まりを理解している。 ＜技能＞ 現在進行形や過去形などの表現の特徴や決まりの理解をもとに、相手のしていることやしたことについて、伝え合う技能を身に付けている。			

月	時	課 Sec	題材・文の形式	主な言語材料	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
			本文の概要	基本文（抜粋）	知・技	思・判・表	主		
3	4	OP3	私が選んだ1枚 picture description ① モデルを確認し、スピーチの構想を練る。 ② メモをもとに発表できるようにイメージをしながら、スピーチ発表のためのメモを作る。 ③ 協働学習で助言、本番の練習。 ④ 本番のスピーチ発表、評価、振り返り。	（これまでの復習）	L / R	Si / Sp / W	Si / Sp / W	（1時） 「私が選んだ1枚」というテーマのスピーチを聞き取ったり読み取ったりすることができる。 （2-4時） ・思い出の出来事や自分の好きなものを伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、写真や絵を相手に示しながらスピーチをしたり、英文を書いたりすることができる。 ・相手の思い出の出来事や好きなものをもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを即興で伝え合うことができる。	【知・技】 （L / R） （1時） ＜知識＞ 過去形などの既習の言語材料の意味や働きを理解している。 ＜技能＞ 過去形などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「私が選んだ1枚」というテーマのスピーチを聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。 【思・判・表】 （Si / Sp / W） （2-4時） ・思い出の出来事や自分の好きなものを伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、写真や絵を相手に示しながらスピーチをしたり、英文を書いたりしている。 ・相手の思い出の出来事や好きなものをもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合っている。 【主】 （Si / Sp / W） （2-4時） ・思い出の出来事や自分の好きなものを伝えるために、自分の考えや気持ちなどを整理し、写真や絵を相手に示しながらスピーチをしたり、英文を書いたりしようとしている。 ・相手の思い出の出来事や好きなものをもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合おうとしている。
	1	PU6	絵はがきを書こう	手紙の書き方	R	W	W	（1時） 友だちに絵はがきを出すために、自分が行ったことのあるところについて、場所や簡単な文や表現を用いて書くことができる。	【知・技】 （R） （1時） ＜知識＞ 手紙で使う表現を理解している。 ＜技能＞ 手紙で使う表現の意味や働きの理解をもとに、絵はがきの内容を読み取る技能を身に付けている。 【思・判・表】 （W） （1時） 友だちに絵はがきを出すために、自分が行ったことのあるところについて、場所や簡単な文や表現を用いて書いている。 【主】 （W） （1時） 友だちに絵はがきを出すために、自分が行ったことのあるところについて、場所や簡単な文や表現を用いて書こうとしている。
		巻末資料	① Scenesのまとめ（Scenesの英文と日本語訳が掲載されているので、ペア活動や英文を書く練習ができる。） ② 単語・文の書き方（単語の書き方、文の書き方の約束事。人の名前は大文字で書き始める、単語と単語の間にはスペースを空けるなど、ライティング活動の際に活用できる。） ③ 英語の書体（アルファベット大文字・小文字のブロック体、活字体、筆記体など。） ④ ローマ字（ヘボン式） ⑤ 英語のつづり字と発音（英語のつづり字と発音の関係をまとめたもの。単語が読めて覚えやすくなる。） ⑥ 英語の音声（発音の仕方） ⑦ 不規則動詞活用表（自己表現で過去の文を話す、書くときに参考にできる。） ⑧ 小学校で学んだ単語（小学校で学んだとみなす語をカテゴリー別にまとめた。日々のSmall Talkで意識的に使うことで小学校の語彙が定着する。） ⑨ 単語と熟語 ⑩ 英語で「できるようになったこと」リスト ⑪ アクションカード1～4 ⑫ Tryのまとめ（Tryを行う際に表現例を参考にする、トピックを選ぶ際に使用する。） ⑬ 教科・文房具 ⑭ 部活動 ⑮ 朝起きてから寝るまで 【付録】 英語の歌（The Mulberry Bush / Hickory Dickory Dock / Old MacDonald Had a Farm）						